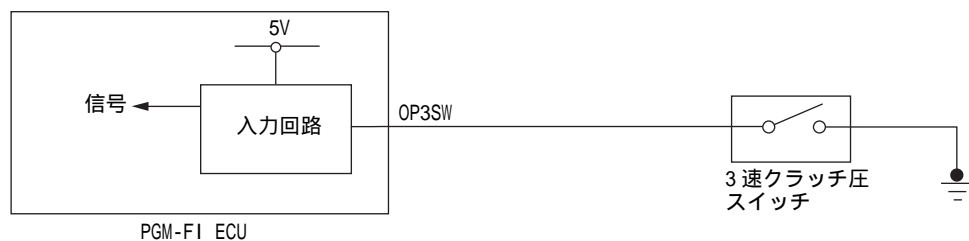


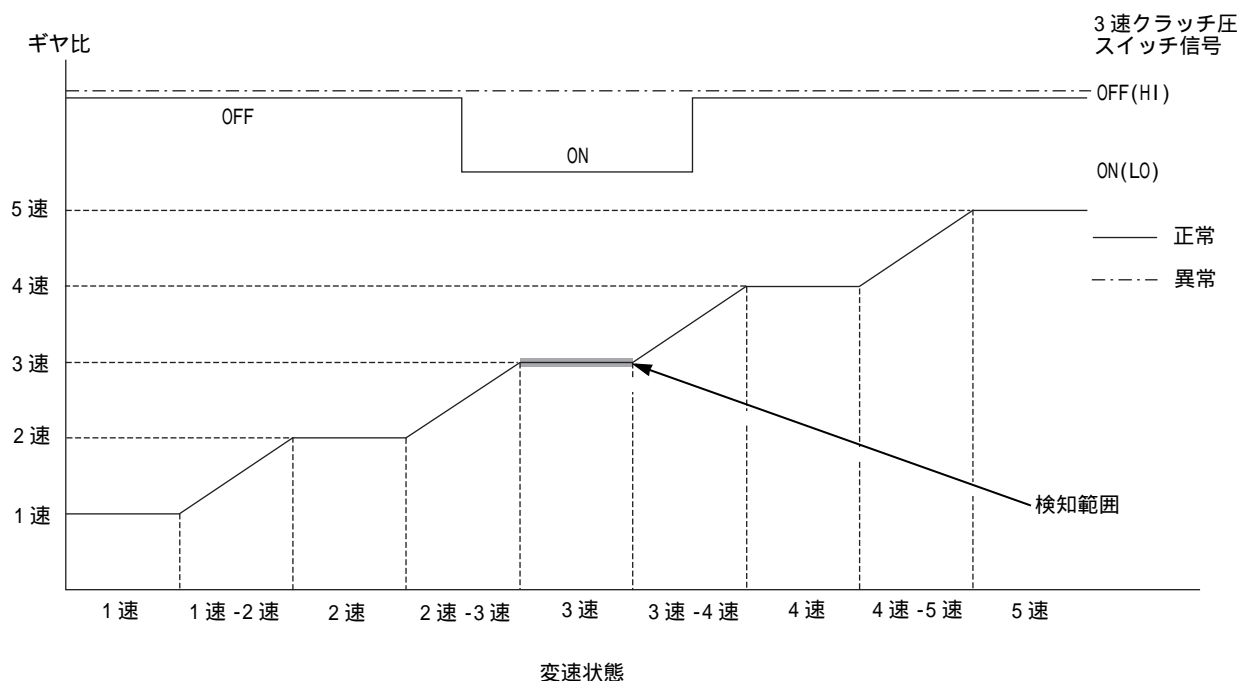
DTC 解説

DTC P0848: 3 速クラッチ圧スイッチ OFF 固着または断線

検知原理解説



01_P0842C_SMGA00



01_P0848G_SMGA01

3 速クラッチ圧スイッチは、3 速クラッチの油圧回路上に設置されている。

3 速クラッチに油圧が供給された際はクラッチ圧スイッチが ON(クローズ) し、クラッチ圧スイッチ信号は L0、油圧が遮断された際はクラッチ圧スイッチが OFF(オープン) し、クラッチ圧スイッチ信号 HI となる。

PGM-FI ECU は、変速時に発生するショックの軽減制御のため、3 速への変速 (2 速から 3 速、4 速から 3 速) 時の変速状況をクラッチ圧スイッチ信号によってモニタしている。

PGM-FI ECU は、入出力回転比が 3 速で走行中に 3 速クラッチ圧スイッチの OFF 信号を検知した場合、3 速クラッチ圧スイッチの OFF 固着と判定し、DTC をストアする。

DTC 解説

検知頻度・検知順序・検知所要時間・検知手法種別・OBD ステータス

検知頻度	常時
(当該 DTC の) 検知順序	なし
検知所要時間	2 秒間以上
検知手法種別	1D/C (単一検知手法)、PGM-FI 警告灯：消灯、D 表示灯：点滅
OBD ステータス	正常判定、故障判定、未完了

D/C: Drive Cycle(ドライブ サイクル)

検知実行条件

条件項目	下限	上限
バッテリー電圧 [バッテリー電圧]	11V	
当該 DTC の検知禁止要求を行う DTC	P0117、P0118、P0122、P0123、P0222、P0223、P0716、P0717、P0718、P0721、P0722、P0723、P0746、P0747、P0751、P0752、P0756、P0757、P0761、P0762、P0766、P0767、P0776、P0777、P0796、P0797、P0847、P0962、P0963、P0966、P0967、P0970、P0971、P0973、P0974、P0976、P0977、P0979、P0980、P0982、P0983、P1658、P1659、P1683、P1684、P1746、P1747、P1780、P2101、P2118、P2122、P2123、P2127、P2128、P2135、P2138、P2176	

[]: HDS パラメータ

故障判定基準

3 速走行時、3 速クラッチ圧スイッチ [3 速クラッチ圧 SW] の OFF 信号が 2 秒間以上検出された場合。

推定故障部位

- ・ PGM-FI ECU と 3 速クラッチ圧スイッチ間コード (OP3SW ライン) の電源短絡
- ・ PGM-FI ECU と 3 速クラッチ圧スイッチ間コード (OP3SW ライン) の断線 (カブラ外れ、もしくは緩みを含む)
- ・ 3 速クラッチ圧スイッチの OFF 固着
- ・ PGM-FI ECU 内部回路の故障

再現テスト手法

HDS を使用する方法

なし。

実際の代表的テスト走行による方法

1. エンジンを始動する。
2. 3 速で 2 秒間以上走行する。
 - ・ テスト走行を行う際は、法令遵守の上、マナーを守り周囲の状況に即した運転をすること。

DTC のストアとクリア

DTC のストア

車両が故障と判定した場合、PGM-FI 警告灯が点灯することなく、D 表示灯が点滅し、PGM-FI ECU メモリにテンポラリ DTC、DTC およびフリーズ データがストアされる。

DTC のクリア

スキャン ツール (HDS を含む) のクリア コマンドの使用、もしくはバッテリー端子の取外しにより D 表示灯、テンポラリ DTC、DTC およびフリーズ データがクリアされる。